



なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 5

令和2年6月19日

校長 広見 理恵

覚悟と自覚をもって ～任命式～



6月17日(水)任命式が行われました。コロナ対策のため、高学年のみの集会(低学年はビデオで)でしたが、凛とした空気の流れるとてもいい会でした。

児童会担当の草先生の呼名で、運営委員、各委員会、各学級委員の皆さんがはりのある声で返事をし、きびきびと起立する姿が素晴らしかったです。運営委員長[]さんが代表で任命書を取りに前へ来るときも、さすが運営委員長という堂々とした態度でした。

その後、運営委員から児童会目標が掲げられ、各委員長からは自己紹介と委員会の目標、全校の皆さんに伝えたいことなど、各委員長が委員会の代表として堂々と発表してくれました。

また、代表者の凛とした姿だけでなく、集中して話を聞いている高学年の姿も素晴らしかったです。任命式が終わった後、それぞれ学年や学級ごとにふり返りをしている姿も印象的でした。

「立場が人をつくる」という言葉があります。その立場にたってみて初めて、そのつらさや責任の重さ、そして達成感も経験することができる。そうした経験が人を成長させるのだと思います。この立場にたつ勇気を出した経験、大勢の人の前で話す経験は、きっと将来に生きてくるはず。

「自分から 自分たちから」安宅小学校をもっといい学校にするための行動を期待しています。

運営委員の皆さんです。とてもすてきな児童会目標を考え、てくれました。自分たちの手で、かけがえない一年になることを願っています。



各委員会委員長さんの発表です。各委員会の目標や活動、全校に伝えたいことなど、長い文を堂々と発表してくれました。



運営委員長 []さんが代表で任命書を受け取りました。

二宮金次郎像にさようなら!

1年生が下校時に、安宅小前の二宮金次郎像に「さようなら」と手を振る姿がほほえましく、本校の教員が思わずシャッターをきりました。

きっと楽しい一日だったんでしょうね。

みんながまた明日登校してくれるのを、先生方も、学校も、二宮金次郎像もまっていますよ



安宅っ子 授業の一コマ



「聴く」
今年「聴く」を大切に全校で共通実践しています。学びのスタートは「聴く」こと。真剣に聞いている子どもたちの顔には思わず引き込まれます。



「集中する」
一言もしゃべらず、一心不乱に問題を解いている集中力のすばらしさに心をうたれます。



「スタート言葉」
今、安宅小では授業のスタートをベルスタ(チャイムでスタート)に加え、自分たちの拳手から始められるよう取り組んでいます。

